

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.321

発行日 平成19年(2007年)2月1日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 一般質問……………2-3面
- 議案等審議結果一覧……………4面
- 政府等への意見書、決議……………4面
- 陳情審議結果……………4面
- インターネット議会中継……………4面
- 議会ダイアル……………4面

第四回 市議会定例会

十二月六日から開かれた第四回定例会は、十二月二十日に閉会しました。今議会では、東京都後期高齢者医療広域連合の設立など十三件の市長提出議案のほか、武蔵野市議会議員定数条例の一部を改正する条例など五件の議員提出議案が議決されました。また、二十人の議員が一般質問を行うなど、活発な議論が交わされました(審議結果一覧は四面に掲載しています)。

議員定数を三十名から二十六名に削減

十二月二十日の本会議で、「武蔵野市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が議員提出議案として上程され、賛成者二十五名、反対者四名の賛成多数で可決されました。

この議案は、現在の議員定数が人口比で近隣等の自治体と比較すると多

く、行財政改革と同様に議会改革を望む市民感情が強いことも踏まえて提案されたものです。

条例改正に伴い、武蔵野市議会の議員定数は三十名から二十六名に削減されました。新しい定数の適用は、今年四月に予定されている市議会議員選

挙からとなります。

議員定数の削減については、議会改革の一環として、一昨年より議会運営委員会で議論を重ねてきました。また、昨年の六月には議員定数の削減に関する陳情が賛成と反対の内容でそれぞれ二件、合計四件提出され、議会運営委員会での審査を経て、十二月八日の本会議で削減を求める内容の陳情二件が賛成多数で採択されました。

武蔵野市議会議員の定数が削減されるのは、昭和六十一年に三十六名から三十名に削減されて以来となります。

東京都後期高齢者医療広域連合の設立を可決

国の医療制度改革に伴う「健康保険法等の一部を改正する法律」が平成十八年六月二十一日に公布され、平成二十年四月から、七十五歳以上の後期高齢者等を対象とする、後期高齢者医療制度が開始されることとなりました。この制度を運営する主体として、平成十八年度中に、都道府県単位の広域連合を設立することが法律で義務づけられています。

東京都内のすべての市町村が参加する広域連合を設立する規約を定めるため、平成十八年十二月八日の本会議で、議案「東京都後期高齢者医療広域連合の設立について」が上程されました。同月十四日の厚生委員会の審査を経て、同月二十日の本会議では、厚生委員長長の報告、三名の賛成討論、二名の反対討論が行われた後、採決の結果、賛成多数で可決されました。

Photo Gallery

フォトギャラリー



●市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を1面に掲載しています。次回の応募要領については、4面をごらんください。



一般質問



第4回定例会で初日より3日間の12月6日、7日、8日に、市政全般について、20名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(2月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第4回定例会分は2月20日登録予定)、インターネット議会中継(アドレスは4面に掲載しています)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

いじめ問題への対応を問う

金子 武議員

- 問 本市ではいじめの実態をどのように把握し、対応しているのか。
- 答 各学校での教育相談や、地域・保護者と連携した情報収集、特別電話相談を行なっている。また、いじめ緊急対策会議で関係機関が連携して対応に当たっている。
- 問 メタボリックシンドロームについて、今後の対応策をどう考えているのか。
- 答 40歳以上の市民への啓発が重要と考える。現在は基本健診で要観察者と診断された市民を対象に、生活習慣病予防や健康増進にかかわる事業を個別に通知している。このほか、飲酒運転の撲滅について等の質問がありました。

歩行者、自転車にとって安全で快適な空間づくりを即実行せよ

松本清治議員

- 問 電線類の地中化は、今後は市道においても面的整備が必要と考えるがいかがか。
- 答 面的整備について今年度中に場所を選定し、来年度に手法や課題を研究したい。
- 問 中道新道は車椅子移動にはとても危険だ。ムーバス運行前に歩道を改修すべきだ。
- 答 来年度以降に歩・車道の段差をなくしたバリアフリー化の整備を検討している。
- 問 自転車駐輪場整備は土地買いの前にJR等へ高架下駐輪場の提供を求めるべきだ。
- 答 JR等へは強く要望を重ねていく。このほか、市民文化会館前の石畳の改修、境南通りの歩道改修、配食サービスの提供等についての質問がありました。

子どものための「最善の仕組みづくり」を早急に

砂川なおみ議員

- 問 いじめや自殺、人間関係のストレスなど、子どもたちをめぐる社会情勢の悪化に対し、子ども施策の基本理念となる「子ども条例」を、市民参加で制定する必要があると考えるが、①子どもの生活実態調査を求める②市役所にある市政資料コーナーに、市民・議員・職員の活動をサポートするためのレファレンス機能を加え、市政図書室として位置づけていくべきではないか。
- 答 ①過去も適宜行ってきたが、今後も必要に応じて実施を検討したい②今後、図書館のレファレンス担当との連携を深めたい。このほか、全市的な中学生の居場所等についての質問がありました。

民間の活力・地元との協働で魅力的なまちづくりを

桑津昇太郎議員

- 問 本市東部地区の住民からなる「吉祥寺東部地区まちづくりルール検討協議会」は、地域の良好なまちづくりを目指して地区計画案をつくり、市側に提出したが、本計画案は、共同ビルを建設してテナントを誘致するなど、イースト吉祥寺の商業地区にふさわしい内容で、まち並み誘導型の魅力的な計画だと考える。市長の見解を伺う。
- 答 にぎわいのあるまち並み形成や美しい景観づくりなど、地域の方が地域の視点で検討していることを大いに評価する。行政としても、必要な支援をしていきたい。このほか、市経営の課題、法政跡地の地区計画等についての質問がありました。



●平成18年12月21日、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員等15名が、同年9月に情報図書館として新たに開館した成蹊大学図書館を視察しました。

武蔵野プレイス(仮称)のコスト削減で福祉や防災対策の充実を

山本ひとみ議員

- 問 武蔵野プレイス(仮称)見直しの、専門家会議中間のまとめ案では、以前の計画と機能も規模も大きな変更がない。①いくらかコスト削減をするのか②同会議の最終報告前に同会議と市民との意見交換会実施を。
- 答 ①コスト削減は極めて大切な要件であり、常に検討していきたい②現時点では実施する考えはない。
- 問 吉祥寺東町地区住民が提案した地区計画案の15メートル高さ制限の導入がなぜ難しいのか。市は業者の了解よりも、地区計画を早く成立させて、規制をすべきでは。
- 答 地区計画を優先するよりは、業者との合意形成へ向け、ぎりぎりまで協議したい。

武蔵境駅高架下及び境浄水場商業施設問題 地元事業者と連携した対応を

島崎義司議員

- 問 武蔵境駅高架下利用について、①商連や地元商店街等と連携して取り組む必要があると考えるが見解は②他の事例ではJRが設置する駐輪場が商店街活性化に必ずしもつながっていない実態もあるが市の考えは。
- 答 ①市内に高架下利用調査検討委員会を設置し、検討している。早い時期に地元商店会の意見を聞きたい②設置形態等を含め他の事例も参考にし、協議を進めたい。
- 問 境浄水場西側に都水道局と関連会社で共同ビルを建設する旨のチラシが突然配布された。市は都に対し毅然とした対応を。
- 答 都に対し早目の情報提供を求め、本市宅地開発指導要綱等での調整を進めていく。

邑上市政スタート1年の総括と今後の展望は

水野 学議員

- 問 邑上市政のこの1年間の取り組みとして、①市長が重視した点を伺う②実績として評価することは③今後の展望は何か。
- 答 ①市民が主役ということに重点を置き、その仕組みづくりを立ち上げることである②第四期長期計画調整計画の市民会議の設置や、各種委員会の公募市民枠の拡大、タウンミーティングの実施により、多様な市民参加の機会をつくったこと、市長・市役所交際費を100万円以下としたこと等③市民の意見を広く聞き、調整計画を実行性の高いものとした。このほか、行財政改革、タウンミーティング等の質問がありました。

出産一時金、市から直接医療機関へ

田辺あき子議員

- 問 子育て支援策として、①妊婦医療費助成制度の創設を求める②出産一時金を市から直接医療機関へ支払う受領委任払い制度の早期導入を求める③中学3年生までの児童・生徒に、養育者の所得制限がない医療費完全無料化の実施を求めるが見解を伺う。
- 答 ①健康診査の費用助成は行っているが、その他の助成制度は現時点では考えていない②国が推奨している制度なので、今後検討していきたい③所得制限を設けないことについては都の制度が確定した後に、他市との均衡を考慮し検討する。このほか、子どものいじめ撲滅、地域拠点にコミセンPR等を等の質問がありました。

シルバー人材センターの組織改革を

三宅英子議員

- 問 都内の他区市に比べ、本市のシルバー人材センターの就業率が低い。会員の実情を把握するためのアンケートの実施や会員を含めたワーキングチームによる課題解決が必要と考えるが見解を聞く。
- 答 課題を整理し、自立を促しながら、財政援助出資団体として指導監督に努めたい。
- 問 前市長が支出した交際費のうち、最高裁で違法とされたものに類似する支出についても、返還を求めるべきではないか。
- 答 法的な側面を研究したうえで、どのように対処すべきか判断したい。このほか、土地購入のあり方、市民会議等についての質問がありました。

市は市民活動の場・情報の提供を積極的に

大野まさき議員

問 防災・安全センターや武蔵野プレイス内に、市民活動支援の場の設置を検討していると聞かすが、位置づけはどのようなものか。

答 防災・安全センター内のスペースは、市民と市との協働の場として位置づけている。武蔵野プレイスは、もう少し幅広い市民活動を行える場としてとらえている。

問 三鷹市のように、市民活動やNPOを広く市民に紹介する場が必要ではないか。

答 現在策定中の、NPO活動促進基本計画等も踏まえて、取り組んでいきたい。

このほか、利用実績が低い本市の病後児保育の課題、シルバー人材センター市報宅配委託の問題等に関する質問がありました。

市民の不安を受けとめ、「外環ノ2」廃止を主張せよ

梶 雅子議員

問 外環道路建設計画において、予定地周辺住民が環境・安全に対する強い不安を抱いている。市長は都に意見書を提出する際、外環道地上部の計画である「外環ノ2」の廃止案をはっきり明記すべきではないか。

答 「外環ノ2」の必要性を認識していない旨を強く書き込んでいきたい。また、さまざまな課題が解決しない限り、外環本線の事業着手は認めない趣旨を記述したい。

問 市内に1カ所のみ設置されている横断歩道の点字ブロック(エスコートゾーン)の増設を求める声があるが市の対応は。

答 平成18年内に3カ所増設する。今後も設置方法や設置場所を検討していきたい。

学級規模を小さくし、「いじめ」克服に向けた教育条件整備の推進を

向谷千鳥議員

問 いじめの早期発見・対応に、教師の目が個々の子どもに行き届く、少人数学級が有効と考えるが、本市の対応は。

答 子どもの悩み等を聞く際、少人数の方が時間がかけられるのは確かだ。本市では指導員等を加配し、個に応じた指導を充実させる、少人数指導で対応したい。

問 障害者自立支援法施行のもと、障害者通所施設の運営が大変困難となりつつある。本市独自の負担軽減策を求めるがどうか。

答 本市で行った事業所のヒアリング結果をもとに課題を整理し、対応を検討したい。このほか、三鷹駅北口の駐輪場対策、緊急通報装置の貸与等の質問がありました。



●平成18年12月22日、同年11月に移転改装した武蔵野赤十字病院救命救急センターを17名の議員が視察しました。

都営緑町団地新7号棟の日照確保を

小野正二議員

問 都営緑町公団新7号棟の隣接公園(市立こっちゃん公園)の樹木について、①1階から4階までが一日中日陰となってしまう新7号棟住民のため、一定程度樹木の移植ができないのか②自治会との話し合いに基づき、公園内の樹木の枝の伐採を予定しているとのことだが、程度や時期は。

答 ①樹木の保存のため伐採や移植は考えていないが、入居後に影の程度を見て住民と協議し必要な剪定を行ないたい②枝の剪定は平成19年12月に始まる入居後となる。

このほか、シルバーホットラインの拡充や、市民の生活・健康に配慮した上でのまちづくり等についての質問がありました。

早急に子育てサイトの立ち上げを

土屋美恵子議員

問 多様な子育て環境がある中、自由な時間帯に必要な情報を検索でき、情報の発信や交流もできる子育てサイトの立ち上げが必要とされていると考えるがどうか。

答 必ずしも市の直営にはこだわらず、柔軟な情報提供ができる方法を検討したい。

問 境幼稚園は平成20年度まで園児を募集するとのことだが、その後の方針を早急に決めるべきではないか。

答 調整計画の議論を踏まえ、平成19年11月までには方針を決定したい。

このほか、アートフリーマーケットを通じた人とまちの活性化、桜堤児童館のイベント等についての質問がありました。

命の大切さをどのように伝えていくか

寺山光一郎議員

問 いじめは人権問題であり、決して許されることではない。早急な対処が必要と考えるが、①本市の対応は②スクールカウンセラーとの連携を強化し、親や教師も相談できる体制をつくるべきではないか。

答 ①発生しているいじめだけでなく、いじめをさせないような土壌をつくることや、思いやりの心、命を尊重する心を伝えていくことが大切だ。子どもたちの対人関係、対応能力の弱体化などの要因を踏まえ、総合的に地域も含めて対処すべきと考える②既に行っているが、徹底するよう指導したい。

このほか、本町コミセンを含めた共同ビル構想等について質問がありました。

出産費用を限りなくゼロに

きくち太郎議員

問 本市の出生率は0.77であり少子化対策が急務である。国・都・企業と協力してこれを推進すべきと考えるが、市でもできることはすべきだ。そこで、①本市の少子化対策を伺う②出産費を無料に近づけていく助成制度をつくるべきではないか。

答 ①一自治体では難しいが、本市でもさまざまな施策を展開しており、それぞれを充実させることが必要だと考える②出産育児一時金の支給を38万円に引き上げた経過はあるが、無料化となると膨大な額となり難しい。国で議論されるべき事項と考える。

このほか、いじめ問題、障害者授産施設の状態等について質問がありました。

市民と協働する市政 本市のビジョンを問う

川名ゆうじ議員

問 市政への市民参加について、市民、NPO、市民団体等が市とどのように協働していくのかが明確ではない。NPO活動を支援する中間支援組織の存在が必要ではないか。市の見解を伺う。

答 NPOを束ねる中間的な組織は大切だが、NPOや市民団体が主体的に設立すべきもので、行政はサポート役と考える。

問 市はNPO等に対する具体的なサポートを何か考えているのか。

答 NPOから要望の多い活動の場の提供や行政の有する情報の提供等を考えている。

このほか、障害者自立支援法、食育、本市の教育の課題について質問がありました。

第四期長期計画・調整計画の市民会議 基本構想の理解の徹底を

やすえ清治議員

問 第四期長期計画・調整計画の市民会議の議論の中で、基本構想を踏まえていない意見であっても、調整計画案に反映されるのか。市長に長期計画・調整計画の大前提である基本構想は変えないことを確認する。

答 基本構想は変えない。基本構想が前提であることを市民委員にご理解いただく。

問 私立幼稚園の保護者の負担は公立と比べ大きく、本市の1万円という入園料補助額は、23区に比べ著しく低い。子育て家庭を公平に支援し、補助の増額を求める。

答 私立幼稚園や園児保護者に対し、さまざまな補助を行っている。入園料補助の増額については前向きに検討したい。

市は障害者控除を認定する制度の周知を

本間まさよ議員

問 障害者手帳がなくても、介護保険認定者に障害者控除を認定する市独自の制度について、申請者が少ない。周知方法の改善が必要では。

答 この制度の対象となる市民は約4,000名だが、制度の利用者は、平成17年度は15名だったため、市報等による周知徹底に努めていきたい。

問 住民税等の負担増の影響で国保税が上がった対象者に対する負担軽減策を求める。

答 繰入金の問題もあるが、何らかの工夫ができないか考えたい。

このほか、障害者福祉センター、歩道の改善等の質問がありました。

安心して老後を過ごせるまちづくり 在宅ターミナルケアに積極的な取り組みを

桜井和実議員

問 高齢者の多くが終末医療(ターミナルケア)に不安を抱いている。とりわけ、在宅ターミナルケアでは、患者やその家族への支援が大切であり、市の取り組みが必要と考えるが、①市は医療機関と行政の役割分担をどう考えるか②桜堤団地建てかえ計画の中で「在宅ターミナルケア支援センター(仮称)」の設置を求めるがどうか。

答 ①福祉公社を中心に在宅サービス事業を重視し取り組んでいる。今後も医療機関、医師会等と協議し研究したい②市が直接、施設等を設置することは考えていない。

このほか市長・教育長の姿勢、みどりのサポーター制度について質問がありました。

第4回定例会で可決された意見書・決議は4件で、政府等へ提出されました。

決 議

法政大学第一中学校・高等学校
校移転に関する決議

吉祥寺東町三丁目にある「法政大学第一中学校・高等学校」は、来年度より三鷹市に移転する予定だが、移転後の同校跡地周辺住民にとって大きな不安が残されている。跡地には大型マンション建設の予定があり、周辺住民からは、住環境を守るために、高さ制限を求めた地区計画案が市側に提出されている。

長年にわたり同校が吉祥寺東町に存在してきた背景には、周辺地域の良好な住環境による恩恵や、さまざまな目に見えない事柄も含めた協力があったものと思われるが、そうした地域社会に配慮することなく、同校が移転していくことは誠に遺憾である。

武蔵野市議会は、同校及び法政大学側が誠意を持って、跡地売却契約先に対し、同

校跡地の抱えている周辺住民の住環境維持等の課題解決に向けた要請を行う等、最大限の取り組みをするよう強く求める。

政府・国会・都へ 意見書

国際刑事裁判所条約批准に関する意見書

我が国は、国内法の整備や加盟後の分担金の負担といった問題を理由に、国際刑事裁判所条約をいまだに批准していない。

アジアの主要国である我が国が早期にこの条約を批准することで、多くの国の批准を促進し、秩序ある平和な世界をつくることに貢献する。

武蔵野市議会は、国際刑事裁判所条約の批准を早期に実現することを要請する。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・外務・法務大臣あて)

我が国は、国内法の整備や加盟後の分担金の負担といった問題を理由に、国際刑事裁判所条約をいまだに批准していない。

アジアの主要国である我が国が早期にこの条約を批准することで、多くの国の批准を促進し、秩序ある平和な世界をつくることに貢献する。

武蔵野市議会は、国際刑事裁判所条約の批准を早期に実現することを要請する。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・外務・法務大臣あて)

都市高速道路外郭環状線に関する意見書

都市高速道路外郭環状線事業について、このたび従来の高架構造方式を大深度地下方式に変更する案が示された。

この案は、周辺住民や行政、議会を中心とした長年の反対運動の成果であるとして理解するが、周辺への環境影響など、検討を要する課題も多い。

また、外環ノ2(地上部街路)の方向性について、地域住民の不安が払拭されていない。

武蔵野市議会は、市民の良好な生活環境の維持や沿線住民の安全を確保するため、次の事項を要望する。

- 一、今後、外環計画について、国及び都は具体的な対策や正確な情報の公開と丁寧な説明を通じ、住民の不安や懸念の払拭に努めること。
- 二、外環ノ2の検討については全面廃止案を加え、地元住民・自治体との協議・対話を重視し、その解決に努めること。なお、早急に今後の検討の

認定子ども園に関する意見書

方向性及びスケジュール等を明確に示さない限り、外環線の事業着手は容認できるものではない。

(内閣総理・環境・国土交通大臣、東京都知事あて)

「認定子ども園」制度の創設により、就学前の子どもに対する施策について、多様な仕組みが構築されたことは評価できる。しかし、設置しようとする自治体や事業者は過大な財政負担を強いられ、保護者負担の増大も懸念される。国による財政支援の不均等は、子どもたちの最善の環境とはならない可能性が高い。

武蔵野市議会は、次の事項を要望する。

- 一、認定子ども園の設置促進を図るため、必要な財政支援を早急に講ずること。
 - 二、幼稚園や保育所のこれまでの役割、機能が十分発揮されるよう支援を強化すること。
- (衆議院・参議院議長、内閣総理・総務・財務・文部科学・厚生労働大臣あて)

議案等審議結果(議決)一覧

第4回定例会

【市長提出議案(13件)】

- 武蔵野市固定資産評価員の選任の同意について……………同意(全会一致)
- 武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
- 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
- 東京たま広域資源循環組合規約の一部を改正する規約……………可決(全会一致)
- 東京都十一市競輪事業組合規約の一部を改正する規約……………可決(全会一致)
- 東京都六市競艇事業組合規約の一部を改正する規約……………可決(全会一致)
- 東京都後期高齢者医療広域連合の設立について……………可決(賛成多数)
- 平成18年度武蔵野市一般会計補正予算(第3回)……………可決(全会一致)
- 武蔵野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
- 武蔵野市職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例……………可決(全会一致)
- 平成18年12月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例……………可決(賛成多数)
- 平成18年12月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例……………可決(賛成多数)
- 平成18年12月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例……………可決(全会一致)

【議員提出議案(4件)】

- 武蔵野市議会議員定数条例の一部を改正する条例……………可決(賛成多数)
- 国際刑事裁判所条約批准に関する意見書……………可決(全会一致)
- 都市高速道路外郭環状線に関する意見書……………可決(全会一致)
- 認定子ども園に関する意見書……………可決(全会一致)

【決議(1件)】

- 法政大学第一中学校・高等学校校移転に関する決議……………可決(全会一致)

陳情審議結果

- 採 扱
 - ・議員定数削減に関する陳情(※)
 - ・武蔵野市議会議員定数削減に関する陳情(※)
- 不 採 扱
 - ・市議会議員定数削減反対に関する陳情(※)
 - ・武蔵野市議会議員定数削減反対に関する陳情(※)
- 継 続
 - ・「浜岡原発震災」における子どもと妊婦のための放射能災害対策に関する陳情
 - ・武蔵野市長が内閣総理大臣に、「市民の生命を守るため一刻も早く浜岡原発全基を止めよ」の要請書を提出することに関する陳情
 - ・吉祥寺東町二丁目全域とその周辺ゾーンの小路の抜本的交通対策に関する陳情
 - ・武蔵野プレス(仮称)建設計画の事業費及び維持管理費の節減に関する陳情
- 取 下 げ
 - ・障害者自立支援法に関する陳情
 - ・ガイドヘルプ・日常生活用具給付事業の現行サービスの量の確保と自己負担増抑制を求めることに関する陳情
- 境南町二丁目の公園に関する陳情
- 地域包括ケア体制確立に関する陳情
- 市議会、市役所にかかわる追加費用の公表に関する陳情
- 市議会本会議における議員の質問・討論の制限に関する陳情
- 療養病床の廃止・削減計画の凍結と見直しに関する陳情
- 子どもの医療費助成を義務教育終了時まで拡大することに関する陳情

(※)は継続審査となっていたものです。

インターネット議会中継をご覧ください

現在、平成18年9月定例会本会議、決算特別委員会、12月定例会本会議の様相を録画中継でご覧いただけます。また、定例会本会議(2月23日から開催予定)、予算特別委員会(3月開催予定)の生中継を配信する予定です。

なお、録画中継は、生中継終了後3日程度(土・日・休日を除く)でご覧いただけます。

インターネット議会中継ホームページにアクセスする手順

武蔵野市ホームページから → 市議会 → インターネット中継の順にクリックしてください。

インターネット議会中継ホームページ
<http://www.musashino-city.stream.jfit.co.jp/>

1面写真募集要領 次回の締切3月16日

- 規 格 : 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁止、未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は、返却いたしませんのでご了承ください。
- 著 作 権 : 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限 : 3月16日(金)当日消印有効
- 添 付 書 類 : 撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。
- 内 容 : 武蔵野市内の風景(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)。
- 審 査 : 議会広報委員会が審査します。
- 発 表 : 採用された作品は、4月30日発行の市議会だよりに掲載します。
- 宛 先 : 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
- 賞 品 : 賞品等はありませんのでご了承ください。
- 問 い 合 せ : TEL0422-60-1883

議会ダイアル

自由民主クラブ	TEL 60-1884	FAX 51-9444
民主・市民ネット	TEL 60-1889	FAX 51-9587
市議会市民クラブ	TEL 60-1885	FAX 51-9445
市議会公明党	TEL 60-1887	FAX 51-9479
日本共産党武蔵野市議団	TEL 60-1888	FAX 51-9485
むさしのリニューアル	TEL 60-1890	FAX 51-9604
無党派議員(第7控室)	TEL 60-1886	FAX 51-9469
無党派議員(第8控室)	TEL 60-1909	FAX 51-9629

※議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページなどで確認いただくか、議会事務局にお問い合わせ下さい。

●議会事務局
○議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせ下さい。
TEL 0422-60-1883
メールアドレス OFC-GIKAI@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp/cms/gikai/>